

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 3年 7月 1日

事業所名 指定通所支援 ミネルヴァ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		学齢期用の椅子や机をしまい、フロアにマットを敷き、広く使えるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		基準を満たした人員配置を行っている。	
	3	生活空間は構造化され、清潔で心地よく過ごせる環境になっており、情報伝達などへの配慮がなされているか	<input type="radio"/>		毎朝、清掃・消毒作業を行っている。入り口にお知らせ用の掲示スペースを設けている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		毎週職員が集まり、ケース会議、職員研修、運営会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		送迎の際、親御さんと情報交換をはかっている。	
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		休業の案内なども含め、HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		受け入れやケース運営に困った場合には、随時隣接する医療機関と相談できるようにしている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		毎週職員が集まり、ケース会議、職員研修、運営会議を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		標準化された尺度を用い、随時必要なタイミングで職員が利用者の状態をチェックするようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		Vineland-II やADI-R、PARSやTASPも利用し、職員研修で確認している。	
	11	児童発達支援ガイドラインに則って作成された、個別支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		個別支援計画書を作成し、保護者に同意を得ながら支援している。	
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		毎週のケース会議で、状況や課題を共有するようにしている。	
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		年間計画を立て、季節感などを大事にしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		支援開始前に当日のスケジュールを確認し、本人から同意を得るようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎週ケース会議を設け、毎朝朝礼で利用者等の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		翌日になってしまうことも多いが、業務日報は、当日作成している。	

関係機関や保護者との連携	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回記録は、月ごとに隣接する医療機関に確認してもらったあと、相談員宛に郵送している。		
	18	定期的に個別支援計画の確認を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		毎週行われるケース会議で、確認を行っている。		
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		なるべく児童発達支援管理責任者と支援担当者の2名以上で参加するようにしている。		
	20	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		依頼があれば連携できるよう、準備はしている。	
	21	移行支援として、園や小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要があれば、保育所等訪問などのサービスを追加できるよう準備している。	
	22	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		個別支援計画書返却を年度末に設けることで、タイミングよく情報共有する事ができるよう準備している。	
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			機能強化事業・自立支援協議会などで情報を得るようにしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			事業所連絡会の案内があれば、1名以上は参加するように調整している。	
保護者への説明責任等	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援のあとに、その都度情報交換している。	
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			不定期で、適宜保護者の便っ協会を企画し、お知らせしている。また、事業所内相談は随時受け付けている。	
	27	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○			事後報告になりがちだが、大幅な改定がある場合には、別紙を作成し、知らせるようにしている。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得	○			前期と後期に分け、面談を設けながら、IEPを作成している。また、書面にて確認を行い、控えをお渡ししている。	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎の際に必ず、保護者と話をするようにしている。また、連絡帳に通信欄を設け、やり取りできるようにしている。	
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			同年齢のお子さんをなるべく同じ時間帯にむかえ、保護者同士話ができるようにしている。	
	31	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内相談はいつでも利用できるよう、整備している。また、必要に応じて、ケース会議などへの参加もやっている。	
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所の休業予定等は、HP似て案内している。臨時のイベント等は別途お便りをつくり、配布している。	
	33	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				個人情報のファイルと、学習用のファイルに分けて保管している。
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				

非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練等を実施しているか	○		風水害・地震・火事・不審者に分け、それぞれ担当を割り振って、年4回の避難訓練を行っている。	
	36	事前に、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		利用者のアレルギーやてんかんなどは、契約の際に確認し、職員間で周知している。	
	37	食物アレルギーのある子どもについて、除去などの対応がされているか	○		食事の提供は行っていない。また、花粉などのアレルゲンも共有している。	
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		定形のフォーマットを作成し、記録に残すようにしている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		児童発達支援管理責任者とは別に、虐待担当を設けている。	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在、拘束を行った事例はありません。	